

# 「地域密着型金融推進計画」に関する進捗状況について

平成18年11月6日

金沢信用金庫

金沢信用金庫（理事長 村田 武）が平成17年8月に発表しました地域密着型金融推進計画の進捗状況についてご報告いたします。

## 「事業再生・中小企業金融の円滑化」について

創業・新事業支援機能等の強化では、創業支援商品である「新進企営」の融資案件を認定する機関として、「サポートデスク委員会」を本部に設置しました。その結果、「新進企営」の実績は24件、208百万円となり、創業・新事業に対する融資実績合計では96件、1,050百万円となりました。また、金沢商工会議所主催の「創業塾」にも、審査・支援金融機関として参加しています。

取引企業に対する経営相談・支援機能の強化では、ビジネスマッチングの新しい取組みとして、平成17年10月に当金庫主催の商談会「きんしんビジネスフェア2005」を開催しました。また平成18年10月には、北陸地区信用金庫協会に加盟する全18金庫合同で、北陸最大級の商談会「きんしんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2006」を開催し、出展企業・団体数は三県で397社、フェア来場者約7,600名、当日の商談件数4,071件、成約件数216件と予想を超える成果があり、産学官が一堂に会し、ビジネスチャンスの創出等、地域経済の発展に寄与することができました。

要注意先債権の健全債権化では、本部の「経営支援室」に中小企業診断士（金庫内）3名を配置し組織の強化を図った他、外部の経営コンサルタント会社と提携を継続し、企業支援対象先139先のうち債務者区分のランクアップを27先果たす等、経営改善に積極的に取り組んでいます。また金庫内の中小企業診断士5名が特別チームを作り、支援先の中から特定企業に対し、直接マーケティング分析等を行って経営戦略を立案・提言しました。

事業再生では、RCC債権の肩代り融資を14先行い、うち中小企業再生支援協議会等の機能を活用した先が4先あり、その中には加賀温泉旅館への取組みもありました。今後も外部機関と連携し、再生支援に積極的に取り組んでいきます。

担保・保証に過度に依存しない融資の推進では、中小企業の資金調達手法の多様化への取組みとして、中小企業金融公庫と連携し、CLO（ローン担保債権）を活用した無担保・第三者保証人不要の融資「きんしんCLOビジネスローン」を平成18年9月から取扱い、100社・20億円の募集をしています。

## 「経営力の強化」について

リスク管理態勢の充実では、統合リスク管理の早期導入を目指し、リスク資本の配賦方法等の調整を行っています。信用リスク管理では、与信ポートフォリオ分析も定着し、常務会に定期的に報告しています。

収益管理態勢の整備と収益力の向上では、「リスク調整後収益管理システム」の運用開始により、

収益管理の充実を図ります。また、与信業務への反映や正確な自己査定及び適切な償却引当の基礎となる格付制度を再構築しました。今後は自己査定システムによる随時査定の実施や信用リスク計量化の一層の高度化を図っていきます。

ガバナンスの強化では、総代氏名のディスクロージャー誌への開示にあたり、個人情報保護法に留意し、「利用目的の同意」を得ることが出来ました。また財務報告に係る内部統制を充実させ、要領の作成並びに組織体制の構築を図りました。

コンプライアンス態勢の強化では、代表役員が全営業店を半期に一度訪問し、役職員間のコミュニケーションを通して直接指導を行いました。また各種研修、臨店指導の実施等の他、外部コンサルタントによる役職員の意識や風土・組織などの診断により、コンプライアンス態勢の改善と強化に取り組んでいます。個人情報保護の安全管理態勢は概ね整備され、今後も不十分な点の改善や全職員に継続的な教育・研修に努めていきます。また公益通報者保護法に対し、内部通報制度規程を制定しました。

ITの戦略的活用では、お客様の利便性や満足度を高めるとともに、業務の効率化・システム化・コスト等の適正化を図るため、平成18年9月より新オンラインシステムを開始しました。

## 「地域の利用者の利便性向上」について

地域貢献等に関する情報開示では、北陸地区の信用金庫・銀行で初めてISO14001の認証を取得し、環境に関する基本理念、基本方針である「環境方針」を公表しました。またISO認証取得の仲介業務や融資商品の内容を開示し、金融業務を通じたお客様の環境保全への取り組みのお手伝いをしています。今後も情報開示のより一層の充実と、お客様にも分かりやすい情報の提供に積極的に取り組んでいきます。

地域のお客様の満足度を重視した金融サービスの提供では、調査委託会社である(株)ベンチャーリンク（東証一部上場）と提携し、「お客様満足度に関するアンケート調査」を実施しました。その分析結果に基づき、当金庫が取組んだ改善策を平成18年6月にホームページに開示しました。また「ご意見箱」・「目やす封書」にて頂きました「お客様の声」に対する回答を、平成18年10月より営業店に掲示しました。今後もお客様のご意見を経営に生かし、ご満足いただけるサービスを提供できるよう業務の改善に努めます。

以 上

# 【大項目毎の進捗状況、進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題】

金沢信用金庫

大項目	17年4月～18年9月の進捗状況		18年9月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（18年9月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
		18年4月～18年9月の進捗状況	
①事業再生・中小企業金融の円滑化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業者・新事業者に対し96件、1,050百万円の融資を実行、創業者支援に取組みました。</li> <li>・「きんしんビジネスフェア2005」を開催、ビジネスマッチングの推進に取組み、フェア当日1,688件の商談、106件の成約に繋がりました。またフェア開催後、フォローアップに努めさらに121件の成約がありました。</li> <li>・企業支援先の経営改善計画書を90先策定、経営改善指導を行い27先がランクアップしました。（改善率19%）</li> <li>・RCC債権譲渡先への再生支援では、中小企業再生支援協議会等と連携し14先の再生に取組みました。</li> <li>・外部講師による経営改善セミナーを継続し、総勢68名が「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格を取得しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業者・新事業者に対し、29件、297百万円の融資を実行しました。</li> <li>・北陸地区の18信用金庫合同で「しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2006」を開催し、4,071件の商談、216件の成約に繋がりました。</li> <li>・企業支援先の経営改善計画書を18先策定、経営改善指導を行い13先がランクアップしました。</li> <li>・RCC債権譲渡先4先の再生支援に取組みました。</li> <li>・「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格取得の為、38名が基礎研修を受講しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業者支援を継続し、地域社会の活性化に寄与します。</li> <li>・ビジネスマッチング活動の促進と継続を図るため、フェア開催後のフォローアップ、モニタリングを行います。また、合同の「しんきんビジネスフェア」の継続開催を予定しています。</li> <li>・本部専担部署に中小企業診断士の増員、企業訪問により経営実態の把握やモニタリング指導の実施、企業支援先の経営改善指導の強化を図りました。</li> <li>・RCC債権譲渡先で再生可能と判断される先は、今後も積極的に再生に取組みます。</li> <li>・経営改善セミナーを継続し、人材の育成に努めます。</li> </ul>
②経営力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与信ポートフォリオ分析の運用態勢が確立しました。</li> <li>・総代会における総代氏名の開示手続きが完了しました。</li> <li>・代表役員によるコンプライアンスの営業店直接指導を実施しました。</li> <li>・内部監査の有効性についての確認態勢を構築しました。</li> <li>・外部コンサルタントによるコンプライアンス監査チェックを実施し、診断結果の報告会を行いました。</li> <li>・統合リスク管理を導入し、各リスクに当該資本配賦を実施しました。</li> <li>・バーゼルⅡの実施に向け、システムの導入を決定しました。</li> <li>・内部格付制度を導入しました。</li> <li>・リスク調整後収益管理システムを導入しました。</li> <li>・内部通報制度規程を定めました。</li> <li>・個人情報保護の態勢を充実させました。</li> <li>・次期勘定系システムを導入しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部コンサルタントによる役職員の意識・風土・組織等の診断結果の報告会を実施しました。</li> <li>・統合リスク管理を導入し、毎月リスク資本のチェックを行っています。</li> <li>・バーゼルⅡの実施に向け、データ整備、リスク削減効果等について検討しました。</li> <li>・内部格付制度の導入により、信用格付区分の見直しや企業格付制度の再構築を行いました。</li> <li>・リスク調整後収益管理システムを導入し、個社別採算管理、店別収益管理を充実させました。</li> <li>・内部通報制度規程を定め、説明会を実施しました。</li> <li>・個人情報保護態勢を強化し、FAX誤送信防止のためのシステムを導入しました。</li> <li>・次期勘定系システムの導入により、お客様へのきめ細かいサービスの提供を実施しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表役員の全営業店訪問による役職員直接意見交換の実施が一巡し、コンプライアンスに関する認識が高まりました。</li> <li>・平成19年3月期における半期情報にて、損益状況も開示します。</li> <li>・業種別、格付別等セグメントごとのリスク調整後収益を分析します。</li> <li>・次期勘定系システムのコンセプトである業務の一端完結に向け、営業店事務の本部集中化を図ります。</li> <li>・個人情報保護に係る安全管理態勢は概ね整備が完了しました。</li> </ul>

<p>③地域の利用者の利便性向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ご意見箱」「目やす封書」に寄せられたご意見を職員に開示しました。</li> <li>・環境方針等、環境保全に関する金融サービスの提供をホームページに開示しました。</li> <li>・地域貢献活動の内容をビジュアルに表現し、分かりやすくミニディスクロージャー誌に開示しました。</li> <li>・「お客様満足度に関するアンケート調査」を実施しました。</li> <li>・商工(会)会議所等の提携ローンを発売しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様より寄せられたご意見に対する回答を営業店に掲示しました。</li> <li>・環境保全に関する金融サービスの提供をホームページに開示しました。(エコ・ビジネスローン)</li> <li>・企業再生支援先の具体的な成功事例をホームページに開示しました。</li> <li>・「お客様満足度に関するアンケート調査」の結果を踏まえた改善策をホームページに開示しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「環境方針」に基づくさまざまな金融サービス等の提供に引続き努めます。</li> <li>・地域のお客様満足度を重視した金融サービスを提供するため、継続的にお客様のご意見を経営に反映させ、改善できる態勢を確立します。</li> </ul>
----------------------	--	---	--